

令和元年 12 月 2 日

航空局 空港技術課

空港制限区域内の自動走行に係る実証実験を実施します！ ～航空イノベーションの推進 地上支援業務(グランドハンドリング)の 省力化・自動化に向けて～

空港地上支援業務の省力化・自動化を推進するため、空港制限区域内における旅客等輸送用バスの自動走行実証実験を行います。

国土交通省では、更なる航空需要の拡大が見込まれる中、空港地上支援業務の労働力不足に対応するため、官民が連携して先端技術の活用について検討・検証を行い、省力化・自動化を推進しております。この取り組みの一環として、昨年度に引き続き12月より空港の制限区域内におけるバス自動走行の実証実験を実施し、実装に向けた課題の抽出を行います。

実施概要は下表及び別紙のとおりです。2019年11月時点の情報につき、今後変更の可能性がります。

実施場所	プレス公開予定日	実施者
中部国際空港	2019年12月16日（実験期間12月16日～18日）	AIRO(株)
東京国際空港	2019年12月19日（実験期間12月9日～20日）	全日本空輸(株)

※各実証実験の詳細については、国土交通省 HP

(http://www.mlit.go.jp/koku/koku_tk9_000028.html)において公表いたします。

問い合わせ先

航空局航空ネットワーク部空港技術課	山根、深谷
TEL:03-5253-8111(内線 49532、49558)	直通:03-5253-8725
E-mail: m-cabkst@mlit.go.jp	FAX:03-5253-1656